



問題分析ワークショップの様子①

気候変動、村の自然資源など現在置かれている環境について学び、これからの農業活動のあり方について考える。



問題分析ワークショップの様子②

農業活動の改善案などについて、ブレインストーミング形式で話し合う。



地図作りトレーニングの様子①

GPSを使って村の地形を測定。川や農地、村と村の境界など、生活の基本となる場所の位置関係を知る。



地図作りトレーニングの様子②

出来上がった地図を見ながら、土地利用状況の問題や計画を近隣の村人同士で一緒に話し合う。



菜園トレーニングの様子①

栽培品種を多様化することで年間を通じた食糧確保が可能になることを学び、在来品種への関心を喚起。



菜園トレーニングの様子②

自家菜園には有機肥料を使用するよう指導。トレーニングで作った熟成堆肥を分配し、村人自身で増やして使う。



『種銀行』トレーニングの様子
村に残る在来作物の種収集や、『種銀行』に常設予定の「種の情報が一覧できる資料作り」について話し合う。



『種銀行』の内部
村に残る在来種の種を見本として展示し、各々の種の栽培方法などについて記した冊子を閲覧できるようにした。



チェックダム(小型堰)トレーニングの様子
小川の流れを小型堰でせき止め、乾季の水の枯渇を防ぎ、生活・農業用水を維持する技術を習得する。



完成したチェックダム(小型堰)
埋め込んだパイプに水道管を連結させて、各村人の土地まで水をひく。



養魚トレーニングの様子
パイプで水を引き、養魚を始めるためのトレーニング。池の掘り方、溜め水の浄化法、餌やりなどを講習。



稚魚の配布
養魚トレーニング後、自分の池を作った村人に食用魚の稚魚を配布。



養鶏トレーニングの様子

養鶏用の資材を運ぶ女性グループ。村では従属的な立場の女性たちが、自立した活動として積極的に鶏の飼育に携わるようになった。



養鶏のための鳥小屋

これまでは放し飼いにしていた鶏を病気や外敵から守る方法として鶏小屋作りを指導。それぞれの家で工夫を凝らした鶏小屋を完成させている。



アグロフォレストリートレーニングの様子

森林を伐採せず、自然環境を保全しながら村人の収益になるコーヒーや果樹の栽培を指導。



アグロフォレストリー用の苗木育成

コーヒーや果樹の種を採取し、ポットで育成してから森に植える。養魚池の周囲にも果樹を植林する。



クロスビジット(村視察交流)の様子①

訪問先のメーホンソーン県ファイホーム村で活動説明を受ける村人参加者。



クロスビジット(村視察交流)の様子②

統合農法とアグロフォレストリーの活動を、メモを取りながら見学する村人参加者。